

全国保健所長会 だより

はじめに

第78回全国保健所長会総会は、東京都保健所長会の石原美千代会長に準備いただき、令和3年12月20日(月)に中央区で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症流行の影響で、書面評決となりました。また、同年8月に予定されていた理事会が新型コロナウイルス感染症第5波の影響で延期せざるを得ず、同年10月1日(金)にオンラインで開催されました。総会の実施開催に向けて準備していた東京の皆さまには、大変お手数をおかけしました。

例年、総会で報告される研究事業報告は資料配布とし、会員協議は4年1月14日(金)に東京都会場とオンラインでのハイブリッド方式で開催されました。総会では、学専攻教授の鳥海不二夫先生らを迎えて開催予定であることが報告されました。また、全国8ブロックで開催している保健所連携推進会議も、すでに3ブロック計160名が参加して開催されたことが報告されました。

広報担当理事より、ホームページや『公衆衛生情報』への寄稿状況の報告がありました。

委員会報告

地域保健の充実強化に関する委員会から、指定難病の更新申請事務や国民健康・栄養調査の実施に当たっての緊急要望作成の報告、令和3年度「地域保健総合推進事業」医療構想と地域包括ケアの推進における保健所の役割について「の研究」の協議状況の報告がありました。

健康危機管理に関する委員会から、新型コロナウイルス感染症対策に関する活動として、3年8月中旬の保健所における積極的疫学調査および勤務状況、今後の新型コロナウイルス感染症対応に対する意見作成、メーリングリストの

全国保健所長会総会報告

全国保健所長会総務担当理事／静岡県西部保健所所長

木村 雅芳

式で開催されることとなりました。また、日本公衆衛生学会総会は、予定通り3年12月21日(火)から23日(木)に東京都会場とオンラインでのハイブリッド方式で開催となりました。本稿では、総会の様子をお伝えする予定でしたが、理事会とそれ以降の準備状況を報告します。

会長あいさつ

本会会長の大分県東部保健所の内田勝彦所長からあいさつがあり、昨年来の新型コロナウイルス感染症への各会員の取り組みを評価するとともに、特に令和3年8月20日(金)に新規感染者数のピーク(全国で2万5851人)となった第5波は、全国の保健所に大きな負荷がかかり、感染拡大防止対策、感

利用状況の報告がありました。公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会から、社会医学系専門医制度指導医講習会の実施状況、社会医学系専門医制度「ZENHO通信」での講習会報告や専門医制度の動向について報告されました。

会長等選出に係る推薦委員会から、検討状況が報告されました。次回第79回総会は、4年10月6日(木)に、山梨県内で開催するべく準備中であることが報告されました。

議案

第78回総会の書面評決を正式に決定しました。令和2年度事業報告および収入支出決算、令和3年度収入支出補正予算、令和4年度事業計画(案)および収入支出予算(案)について承認され、総会に提出することとなりました。

第67回全国保健所長会 会長表彰

保健所に20年以上勤務し、公衆

染者への対応、医療体制の確保、所属の維持管理に取り組んだ会員へのねぎらいがありました。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への対応、難病対策、国民健康栄養調査に関する厚生労働省との協議など、直面するさまざまな課題への対応について感謝の言葉がありました。

担当理事報告

総務担当理事から、後援や会長等の活動について報告がありました。

学術担当理事から、総会での研究報告は大阪府藤井寺保健所の田中英夫所長に「新型コロナウイルス対策等推進事業」について、また、兵庫県加東保健所の逢坂悟郎所長

衛生行政に功績のあった方に対する表彰です。全国から推薦された50名の功労者の表彰が決定しました。会長から長年の公衆衛生行政への貢献に感謝と敬意の表明がありました。以下に受賞者をご紹介します(敬称略)。

- 北海道渡島保健所 歌川喜人
- 北海道富良野保健所 山岡巖、青森県五所川原保健所 中村久美子、岩手県中部保健所 後藤未央子、宮城県塩釜保健所 佐藤さえ子、秋田県秋田中央保健所 鈴木明美、山形県村山保健所 山田晴美、福島県会津保健所 渡部智子、新潟県村上保健所 森脇千恵美、茨城県土浦保健所 小川英子、栃木県県北保健所 小川淳子、群馬県桐生保健所 井上弘子、千葉県松戸保健所 池田紀子、千葉県君津保健所 小野悦子、神奈川県厚木保健所 沖山晃子、山梨県中北保健所 高野さは子、長野県諏訪保健所 北條博夫、静岡県西部保健所 小嶋由美、文京区文京保健所 左近孝子、品川区保健所 森豊美、富山県砺波厚生センター 水木路男、石川県南加賀保健所 松本美紀、福井県若狭保健所 辻

に「医療構想と包括ケアの推進における保健所の役割についての研究」についてお願いしたことが報告されました。これらの研究報告は、総会後、全国保健所長会ホームページに公開する予定となっています。また、群馬県・利根沼田兼吾妻保健所の武智浩之所長が日本公衆衛生学会奨励賞を受賞されたことが報告されました。加えて、地域保健総合推進事業への若手公衆衛生医師の積極的な参加を働きかけたことやアンケート調査の調整状況、国際協力事業のシンポジウムを3年12月14日(火)に開催することが報告されました。

研修担当理事から、令和3年度全国保健所長会研修会は、4年1月27日(木)にオンラインで開催する予定であること、また「新型コロナウイルス感染症対応を超えた未来をさらに見据えて」と題して、ネット社会にどう対応するかをテーマに、パネリストとして独立行政法人地域医療機能推進機構理事長の尾身茂先生、厚生労働省健康局長の佐原康之先生、東京大学大学院工学系研究科システム創成

- 司代、岐阜市保健所 佐藤恵、名古屋市保健所 森下千恵美、岡崎市保健所 板倉裕子、滋賀県長浜保健所 武田浩文、京都府中丹東保健所 内海和代、大阪府茨木保健所 中條憲孝、兵庫県芦屋保健所 福永誠、神戸市保健所 岡田明美、奈良県中和保健所 森本めぐみ、和歌山市保健所 中村泰示、鳥取市保健所 大塚月子、島根県県央保健所 竹森順子、福山市保健所 藤原孝子、山口県山口環境保健所 辻下淳子、徳島県美波保健所 小西良子、香川県中讃保健所 森佳司、愛媛県八幡浜保健所 永井健二、高知県中央東福祉保健所 山崎修子、福岡県筑紫保健所 石田さゆり、福岡市城南保健所 入澤由三子、佐賀県伊万里保健所 原口志乃子、長崎県対馬保健所 山下敏孝、熊本市保健所 永田和恵、大分県豊肥保健所 藤澤さとみ、宮崎県延岡保健所 糸田啓一、鹿児島県名瀬保健所 久保倫子、沖縄県中部保健所 新垣さと子